

ステークホルダーコミュニケーション

基本的な考え方

＞ パーパス(私たちの存在意義)の実現・発揮に向
 以下のコミュニケーションを実践しています。

私たちのステークホルダー

私たちが提供

JA・JF・JForestなどの会員
 (計3,232団体)

- JA、JF、JForestや各系統組織の連合会など

- 最終的な運用の担い手としての安定還元
- JAバンク・JFマリンバンクの全国機関と統一的な事務手続等の企画・提供
- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のネ成長の支援

会員の組合員
 (農林水産業に従事するみなさま)
 地域社会のみなさま

- 農林水産業従事者
- 地域住民・企業・団体など

- 会員と連携した施策を通じた事業活動の
- JAバンク・JFマリンバンクの一員としての解決・ライフプランのサポート
- 地域課題の解決と地域活性化への貢献

農林水産関連企業をはじめとする
 預貯金や貸出のお取引先

- 農林水産関連企業
- 一般企業など

- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のネ成長の支援
- JA・JF・JForestグループの基盤を活かし

投資家のみなさま

- 国内外の機関投資家
- 米ドル建農林債(グリーンボンド)投資家など

- 高品質(高クレジット)な投資機会の提供
- 当金庫の気候変動への取組みにかかる

ビジネスパートナー

- 金融機関
- 市場参加者
- 業務委託先など

- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のネ成長の支援

行政

- 主務省
- 地方公共団体など

- 食や農林水産業の成長産業化および地域
- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のグループの基盤を活かした協業の実現

農林中央金庫グループ職員

- グループ職員

- 仕事のやりがい・達成感を得られる職場
- 役職員のキャリア開発・成長機会の提供
- ライフスタイルに応じた多様な働き方の

けて、ステークホルダーのみなさまへ価値を提供し続けていくために、

する主な価値	主なコミュニケーションの方法
<p>しての各種施策・システムインフラ・ ネットワーク等を通じた課題の解決・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常的に行う直接的な対話 ■ 意思決定機関・会議等での協議・意見交換（総代会、経営管理委員会、JAバンク中央本部委員会、JFマリンバンク中央本部委員会など） ■ 情報提供や会員間の交流等を企図したイベントの開催
<p>支援・所得向上の後押し の金融サービス提供等を通じた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会員を通じたやりとり ■ 都度の直接的な対話 ■ 商談会・セミナー等のイベント開催 ■ ホームページ等での情報発信
<p>ネットワーク等を通じた課題の解決・ た協業の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業活動を通じた直接的な対話 ■ お取引先の企業価値向上に向けたエンゲージメント活動 ■ 商談会・セミナー等のイベント開催 ■ ホームページ等での情報発信
<p>ファイナンス機会の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外投資家との面談や説明会の実施 ■ ホームページ等での情報発信
<p>ネットワーク等を通じた課題の解決・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業連携時の直接的な対話 ■ 業界団体を通じたやりとり ■ ホームページ等での情報発信
<p>活性化等への貢献 ネットワーク、そしてJA・JF・JForest</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 渉外活動を通じた直接的な対話 ■ ホームページ等での情報発信
<p>環境の提供 実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上司・部下の1on1ミーティング、役員・職員間の面談 ■ 各種研修・セミナー・説明会等の開催 ■ 組織能力調査の実施 ■ 社内広報施策を通じた情報発信